

記載例(共同住宅の場合)

(表面)

建築基準法施行規則第一条の三第4項表一(四)項に基づく図書の標準書式

浄化槽調書

1 建築主住所氏名		住所、個人氏名、会社名等			
2 施設の名称 (未定の場合は記入不要)		(仮称)〇〇〇〇〇〇〇〇 工事名称でも可			
3 建築場所		(地名地番)			
		(住居表示)			
4 建築物用途		共同住宅(注:複合用途の場合は、人槽算定対象の用途を記載)			
5 浄化槽の概要	製造又は設計業者	浄化槽メーカー名または設計者			
	名称(型式)・処理方式	例:フジクリーン PMⅡ-50D ・膜分離活性汚泥方式			
	型式認定番号	例:型 01CafOa1043321			
	処理対象人員及び算定根拠	例:45 人 (算定式:延床面積 900 m ² ×0.05=45)			
	浄化槽人槽	50 人槽	日平均汚水量	9 m ³ /日	
	放流水の水質	BOD	20 mg/ℓ		
		全窒素		高度処理型でない場合は記入不要	mg/ℓ
		全りん			mg/ℓ
6 放流先又は放流方法		① 側溝 ②水路 ③その他(蒸発拡散方式)			
7 使用開始(予定)年月日		平成〇〇年〇〇月〇〇日			
8 浄化槽工事(予定)業者 (未定の場合は記入不要)		(氏名又は名称) 〇〇設備株式会社 (登録又は届出番号) 千葉県 知事(届-25)第 99999 号			
9 備考		日平均汚水量及び BOD 算定は JIS 参考値を利用。 算定式:45 人×200=9000ℓ/日、45 人×40÷9000ℓ/日=0.2g/ℓ			
※確認番号・年月日					

1 放流先又は放流方法の欄は該当する事項を○で囲み、③その他には①、②以外の放流先または放流先のない場合の処理方法を記入すること。

2 裏面に記載する浄化槽の関係資料を添付すること。

3 処理対象人員を JIS A 3302-2000 のただし書きにより実情に合わせて算定した場合は、別途根拠資料を添付すること。

4 ※欄には記入しないこと。